



郷土の先輩「特別授業」

今年度も、ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）を活用して、豊後大野市出身者で、市内外で活躍されている方々を講師に招き、「特別授業」を行いました。豊後大野市で過ごした子どものころの様子、仕事に就いたきっかけや、仕事内容、やりがいについてお話ししていただきました。

◆寺島曜さん⇒千歳小中 ◆森迫麻衣さん⇒三重中・犬飼小中・清川小中 ◆板井遼平さん⇒緒方学園・朝地小中・大野小中



寺島曜さんは旧千歳村井田小学校・千歳中学校出身のグラフィックデザイナー。コロナ禍をきっかけに、小説を書き始めたそうです。デビュー作「キツネ狩り」で新潮ミステリー大賞を受賞されました。



寺島 曜さん

私は60歳を過ぎて小説を書き始めました。自分にどんな能力があるかは意外とわからないものです。だからいろんなことに挑戦して、自分の見えない能力を見つけてください。



森迫 麻衣さん

森迫麻衣さんは、菅尾小学校、三重中学校出身。「ぶんごおのおのケーブルテレビ『週間情報トレイン』『おはようナイスキャッチ』」でおなじみのフリーアナウンサーです。大学4年の卒業直前、アルバイトで参加したイベントで、アナウンサーという仕事に魅力を感じ、一念発起。アナウンススクールに通って半年後OB Sに採用されたそうです。

アナウンサーとして一番大切に感じるのは「相手の話を聞く」こと。今、夢が見つからなくても、夢をもった瞬間に、どれだけ努力できるかが大事です。夢は何歳からでもかなえられます！

板井遼平さんは、緒方小学校、緒方中学校出身、東京都内の法律事務所に勤務している弁護士です。サッカーに夢中だった中学生・高校生時代。高校の授業で、弁護士の合格者が増えていることを知ったのがきっかけで、弁護士になることを考え始めたそうです。

仕事で大切なのは向上心とやる気です。部活で培ってきたこと（コミュニケーション力など）が、今の仕事に役立っています。人生に無駄な経験はないし、夢のきっかけは、意外と身近なところにあります。



板井 遼平さん